

研修報告書 No. 1

所 属： 東京大学医学部附属病院

研修先： 土佐市民病院

土佐市民病院にて臨床研修医 2 年目 4 月の一ヶ月間、地域医療研修を行いました。

最初に、研修期間を支えてくださった先生方、看護師さん、技師さん、事務の方々、院内の皆様へ深くお礼申し上げます。

土佐市民病院では、外来診療（内科外来、外科外来、小児科外来、耳鼻科外来）、病棟診療、救急対応、夜間当直、手術を経験しました。小児科外来と耳鼻科外来は主として見学、その他は指導医の先生のもとで、非常に裁量が大きい研修ができました。大学病院では病棟業務のみで、外来や救急対応の経験はありませんでしたが、土佐市民病院では研修初日から内科外来や救急外来で自分が主体となって対応することができました。コロナウイルス感染症も下火となった時期ではありましたが、発熱も含め緊急度・重症度ともに様々な症例を経験し、CPA の対応も経験することができました。指導医の先生からその都度フィードバックを受けながら研修を進めることができたのは非常に有意義でした。また、診療科間の垣根も低く、外来・病棟ともに多科の先生方に直接相談できたのもとても貴重な経験でした。

また、外科外来では外来や処置を先生の指導の下で行い、手術に参加する機会も多く、たくさん経験ができました。上記の業務以外に自由時間も設けられており、自分の志望科等に合わせて自由に過ごすことができたのですが、私は腹部エコーや心エコー、下肢エコーを技師さんから教えてもらったり、麻酔科志望だったため挿管～抜管まで外科手術に多く参加しました。手術も腹腔鏡から開腹、予定から緊急手術まで参加することができ、こういった自由度の高さは地域研修ならではの、とても貴重な経験ができました。外科外来から直接手術となった症例も経験することができました。また、麻酔も手術も大学病院とは異なる点が多く、地域医療における麻酔、手術を経験できたことは今後の自分のキャリアに大変有意義なことだと感じました。

一方で、土佐市民病院では、専門科に関わらず多くの科の疾患に対応しなければならないことが多く、指導医の先生方は当然のごとく他科の問題にも対応していましたが、経験豊富な先生方の力に頼っている側面が大きいと感じました。また自院で対応できない、あるいは治療の選択肢を増やす目的で他院に搬送を必要とする機会も多く、その点では ICU 入室するような重症の患者さんの診療にあたる機会はありませんでした。ただ、これは医療制度における分業を考慮すれば当然のこととも考えられますし、一人の患者さんを包括的に見る経験ができたことはとても有意義でした。

研修のかたわら、高知県ならではの素晴らしい環境に触れる機会も多く持つことができました。有名な魚介類や柑橘を始め、山菜なども高知県独特のものを味わえます。飲食店で

も安価に新鮮な食材を味わえるところが多く、日曜市や高知城、桂浜、仁淀川といった観光地は見るだけでも目に楽しかったです。中でも私は有名な牧野植物園がとても楽しく、たくさん植物を眺めるだけでも際限なく時間を過ごすことができ、一ヶ月の間に2回訪れてしまいました。そのほか、四国各県へのアクセスも良く四国全域の観光も可能のようです。おおらかな自然に囲まれた環境で研修できたことをとても嬉しく思うと同時に、人の多い東京での研修環境と比較してとても魅力的な環境だと感じました。

今回の研修を総括しますと、外来から手術まで包括的に患者さんを診る機会を多く持てたことは大学病院では得られない経験で、大変有意義でした。こういった経験ができたのも、ひとえに指導して下さった先生方や、研修医という立場の自分を温かく受け入れて下さった院内の皆様のおかげだと感じております。改めて、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。